

<平成26年度 第2回 (第141回)>
中小企業景況調査報告書

町村における中小企業の景況

平成26年 7月～ 9月期実績

平成26年10月～ 12月期予測

平成26年8月23日 ～ 9月2日調査



福島県商工会連合会

調 査 概 要

1. 調 査 対 象

この調査は、本県の町村部に設置されている商工会地区の中から中小企業の景況を調査したものである。

- (1) 対象地区（14商工会）
松川町、桑折町（広域：国見町・川俣町）、保原町、富久山町、玉川村、船引町
（広域：三春町・小野町・滝根町・大越町・都路町・常葉町）、岩瀬（広域：大東・長沼・鏡石町・天栄村）、埴町（広域：棚倉町・矢祭町・鮫川村）、下郷町、西会津町、会津美里町、富岡町、浪江町、内郷
- (2) 対象企業数及び業種内訳210企業
製造業51企業、建設業37企業
小売業61企業、サービス業61企業
- (3) 回答企業数174企業（回答率82.8%）

2. 調査対象期間

平成26年7月～9月期を対象とし、調査時点は平成26年9月1日とした。

3. 調査方法

- (1) 対象商工会の経営指導員による訪問面接調査
- (2) 調査対象地区の決定は、商工会地区市町村人口規模別実態を勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向調査）の略で、企業経営者を対象に景況を示すいくつかの指数をアンケート調査して、その結果で景況の判断を表わす指標である。算出方法は、今期と前期、今期と前年同期比あるいは今期と来期（見通し）との比較を行い、増加（上昇・好転）企業の割合から減少（低下・悪化）企業の割合を差し引いたものとする。

前回（平成26. 6. 1）のお天気マーク表

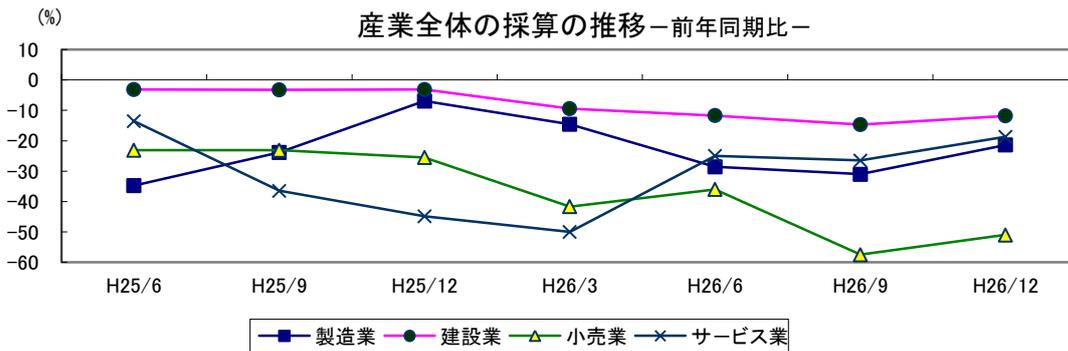
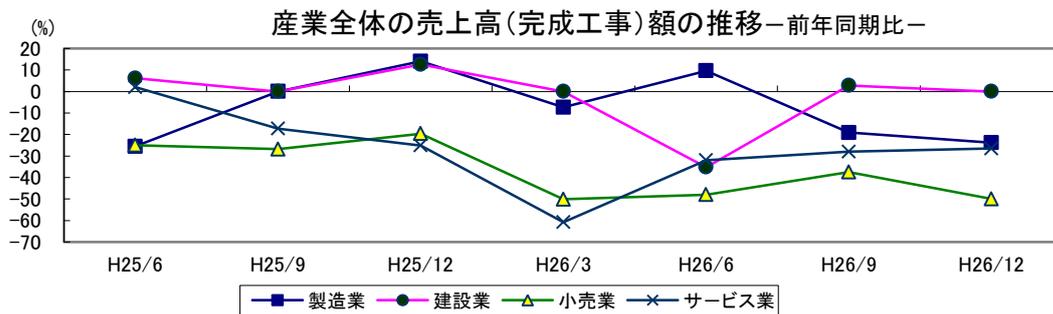
業種	売上状況		採算状況	
	実績	見通し	実績	見通し
製造業	9.6 	△ 14.3 	△ 28.6 	△ 30.9 
建設業	△ 35.2 	△ 27.3 	△ 11.7 	△ 20.6 
小売業	△ 48.0 	△ 46.0 	△ 36.0 	△ 36.0 
サービス業	△ 32.0 	△ 20.0 	△ 25.0 	△ 31.2 

1. 産業全体の景況概要

県内商工会地区における今期(平成26年7～9月期)の中小企業景況調査の結果によると、前期DI値と比較して売上額(完成工事額)では、製造業(28.7ポイント悪化)で大幅な下向き、建設業(38.0ポイント改善)で大幅な上向き、小売業(10.6ポイント改善)でやや上向き、サービス業(4.0ポイント改善)でほぼ横ばいとなっている。採算においては、製造業(2.4ポイント悪化)、建設業(3.0ポイント悪化)、サービス業(1.5ポイント悪化)でほぼ横ばい、小売業(21.5ポイント悪化)で大幅な下向きとなっている。

また、今期DI値と比較した来期(平成26年10～12月期)の見通しは売上額(完成工事額)では、製造業(4.7ポイント悪化)、建設業(2.8ポイント悪化)、サービス業(1.5ポイント改善)でほぼ横ばい、小売業(12.6ポイント悪化)で下向きの見通しとなっている。採算においては、製造業(9.6ポイント改善)、小売業(6.5ポイント改善)、サービス業(7.8ポイント改善)でやや上向き、建設業(2.9ポイント改善)でほぼ横ばいの見通しとなっている。

お天気マークを見ると、今期の売上額(完成工事額)において、製造業、サービス業で来期まで雨の見通し、建設業で来期まで曇の見通し、小売業で今期雨から来期大雨の見通しとなっている。採算において、製造業、サービス業で来期まで雨の見通し、建設業で来期まで小雨の見通し、小売業で来期まで大雨の見通しとなっている。



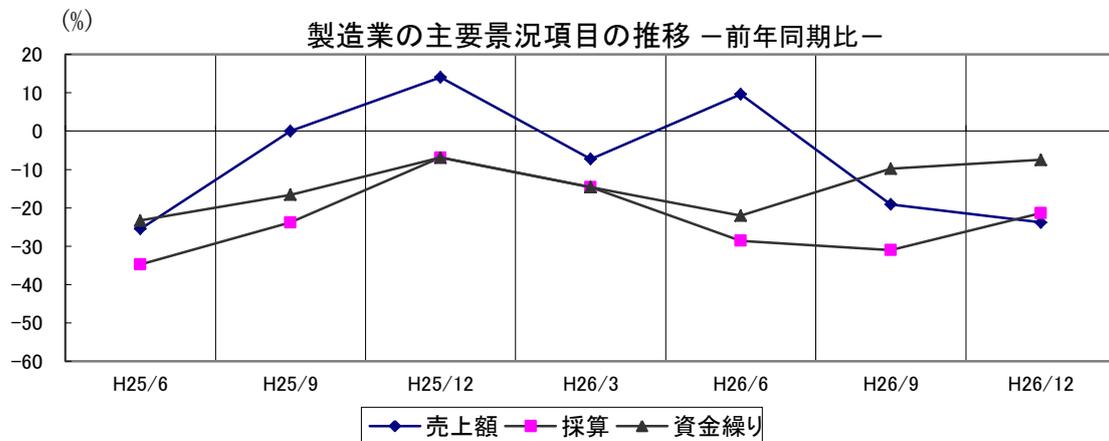
産業全体のお天気マーク—前年同期比—

業種	主要指標	売上状況		採算状況	
		実績	見通し	実績	見通し
製造業		△ 19.1 ☔	△ 23.8 ☔	△ 31.0 ☔	△ 21.4 ☔
建設業		2.8 ☁	0.0 ☁	△ 14.7 ☔	△ 11.8 ☔
小売業		△ 37.4 ☔	△ 50.0 ☔	△ 57.5 ☔	△ 51.0 ☔
サービス業		△ 28.0 ☔	△ 26.5 ☔	△ 26.5 ☔	△ 18.7 ☔

2. 製造業

今期(平成26年7～9月期)の前年同期比DI値は、前期DI値と比較して売上高でマイナス19.1ポイント(28.7ポイント悪化の大幅な下向き)、採算でマイナス31.0ポイント(2.4ポイント悪化のほぼ横ばい)、資金繰りでマイナス9.8ポイント(12.2ポイント改善の上向き)と、売上高で大幅な下向き、採算でほぼ横ばい、資金繰りで上向きとなっている。

来期(平成26年10～12月期)見通しの前年同期比DI値は、今期DI値と比較して売上高でマイナス23.8ポイント(4.7ポイント悪化のほぼ横ばい)、採算でマイナス21.4ポイント(9.6ポイント改善のやや上向き)、資金繰りでマイナス7.5ポイント(2.3ポイント改善のほぼ横ばい)の見通しと、売上高、資金繰りでほぼ横ばい、採算でやや上向きの見通しとなっている。



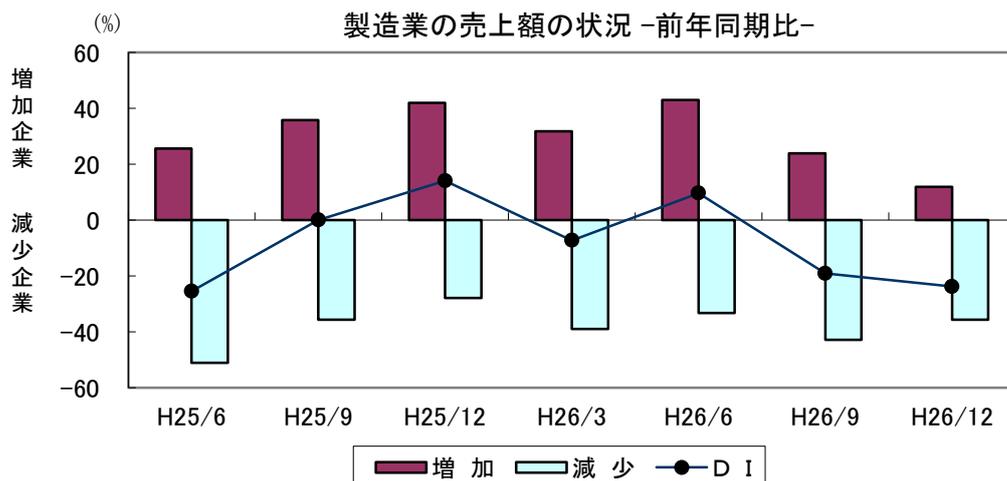
◎売上(加工)額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から19.1ポイント減少し、23.8%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から9.6ポイント増加し、42.9%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から28.7ポイント悪化し、マイナス19.1ポイントと大幅な下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して4.7ポイント悪化し、マイナス23.8ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「増加」と回答した企業が11.9ポイント減少、「減少」と回答した企業が7.2ポイント減少であることから、ほぼ横ばいの見通しとなっている。

◎製造業の売上(加工)額(前年同期比)

年 / 月	前期				今期		見通し
	H25/6	H25/9	H25/12	H26/3	H26/6	H26/9	H26/12
増加	25.6	35.7	41.9	31.7	42.9	23.8	11.9
減少	51.1	35.7	27.9	39.0	33.3	42.9	35.7
D I	△ 25.5	0.0	14.0	△ 7.3	9.6	△ 19.1	△ 23.8



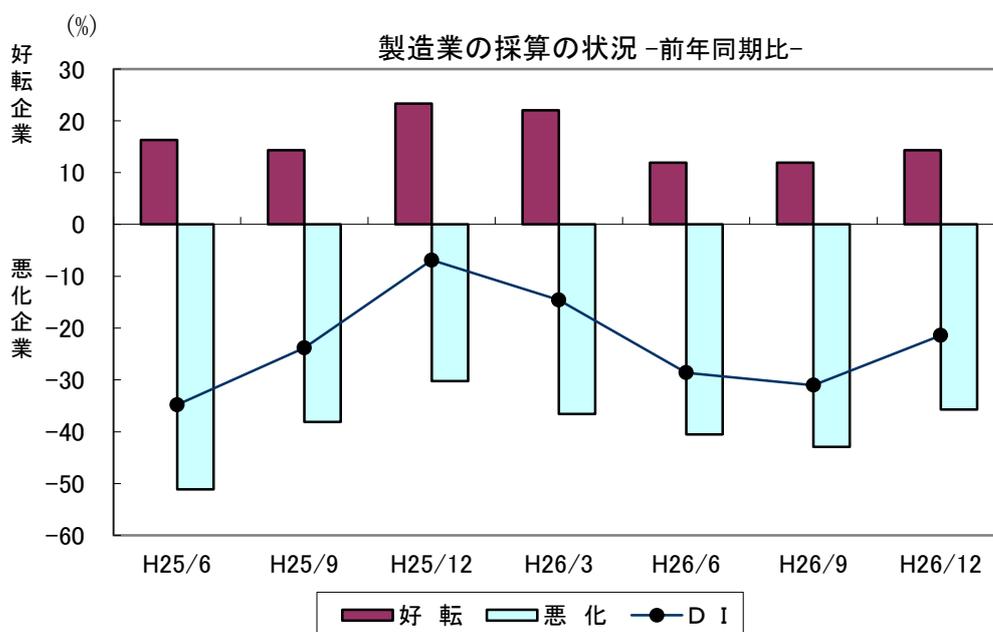
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期と同様の11.9%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から2.4ポイント増加し、42.9%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から2.4ポイント悪化し、マイナス31.0ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して9.6ポイント改善し、マイナス21.4ポイントとやや上向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が2.4ポイント増加、「悪化」と回答した企業が7.2ポイント減少であることから、やや上向きの見通しとなっている。

◎製造業の採算（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	H25/6	H25/9	H25/12	H26/3	H26/6	H26/9	H26/12
好転	16.3	14.3	23.3	22.0	11.9	11.9	14.3
悪化	51.1	38.1	30.2	36.6	40.5	42.9	35.7
D I	△ 34.8	△ 23.8	△ 6.9	△ 14.6	△ 28.6	△ 31.0	△ 21.4



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期と同様の7.3%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から12.2ポイント減少し、17.1%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から12.2ポイント改善し、マイナス9.8ポイントと上向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して2.3ポイント改善し、マイナス7.5ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が2.3ポイント減少、「悪化」と回答した企業が4.6ポイント減少であることから、ほぼ横ばいの見通しとなっている。

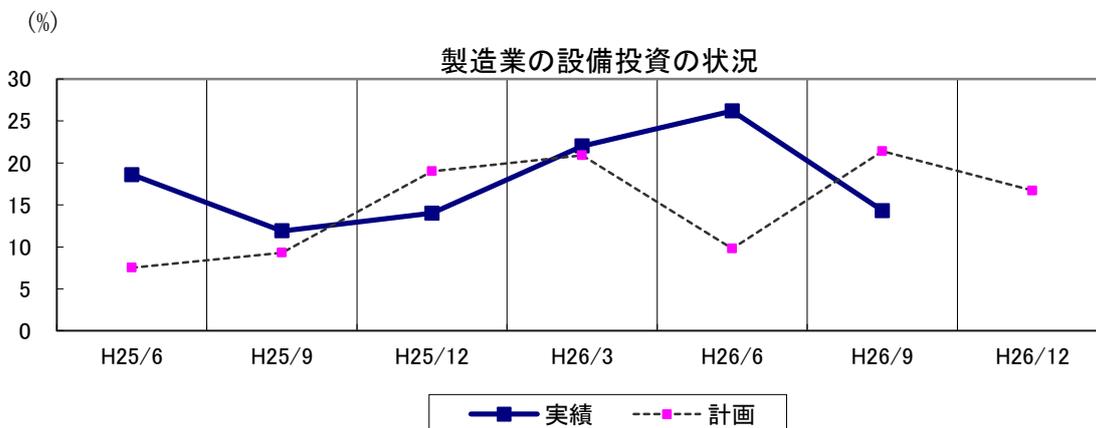
◎製造業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	H25/6	H25/9	H25/12	H26/3	H26/6	H26/9	H26/12
好転	11.6	4.8	14.0	9.8	7.3	7.3	5.0
悪化	34.9	21.4	20.9	24.4	29.3	17.1	12.5
D I	△ 23.3	△ 16.6	△ 6.9	△ 14.6	△ 22.0	△ 9.8	△ 7.5

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から11.9ポイント減少し14.3%となっている。投資内容では「生産設備」、「車両・運搬具」が50.0%、「工場建物」、「OA機器」が16.7%で、他は0%となっている。

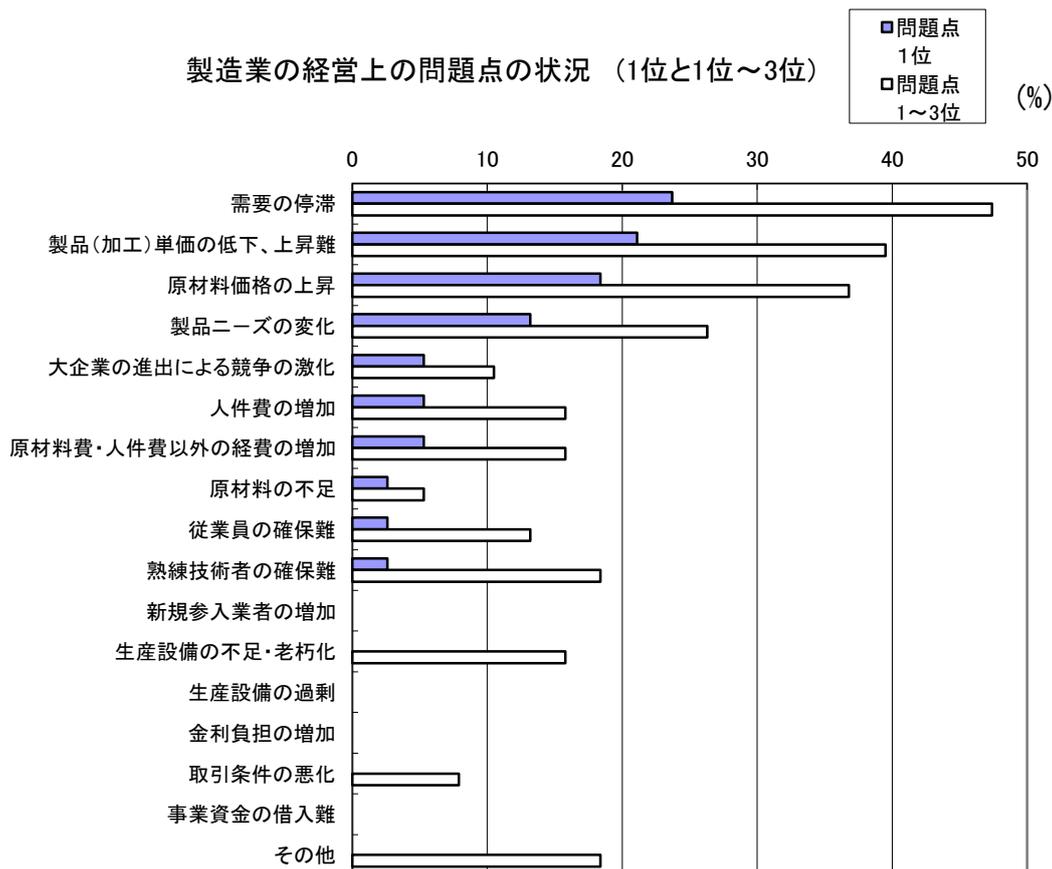
来期に設備投資を計画している企業は16.7%であり、今期計画から4.7ポイント減少、今期実績からは2.4ポイント増加している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「需要の停滞」が23.7%、「製品(加工)単価の低下、上昇難」が21.1%、「原材料価格の上昇」が18.4%、「製品ニーズの変化」が13.2%で、他は10%未満となっている。

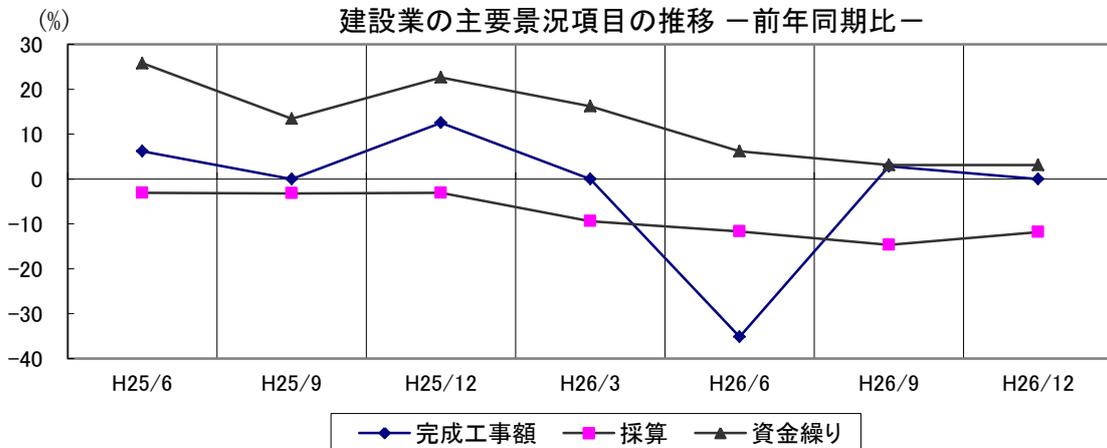
第1位～3位までの合計の問題点は、「需要の停滞」(複数回答以下同じ)が47.4%、「製品(加工)単価の低下、上昇難」が39.5%、「原材料価格の上昇」が36.8%、「製品ニーズの変化」が26.3%、「熟練技術者の確保難」、「その他」が18.4%、「人件費の増加」、「原材料費・人件費以外の経費の増加」、「生産設備の不足・老朽化」が15.8%、「従業員の確保難」が13.2%、「大企業の進出による競争の激化」が10.5%で、他は10%未満となっている。



3. 建設業

今期(平成26年7～9月期)の前年同期比DI値は、前期DI値と比較して売上高で2.8ポイント(38.0ポイント改善の大幅な上向き)、採算でマイナス14.7ポイント(3.0ポイント悪化のほぼ横ばい)、資金繰りで3.1ポイント(3.1ポイント悪化のほぼ横ばい)と、売上高で大幅な上向き、採算、資金繰りでほぼ横ばいとなっている。

来期(平成26年10～12月期)見通しの前年同期比DI値は、今期DI値と比較して売上高で0.0ポイント(2.8ポイント悪化のほぼ横ばい)、採算でマイナス11.8ポイント(2.9ポイント改善のほぼ横ばい)、資金繰りで前期と同様の3.1ポイントの見通しと、売上高、採算でほぼ横ばい、資金繰りで前期同様の見通しとなっている。



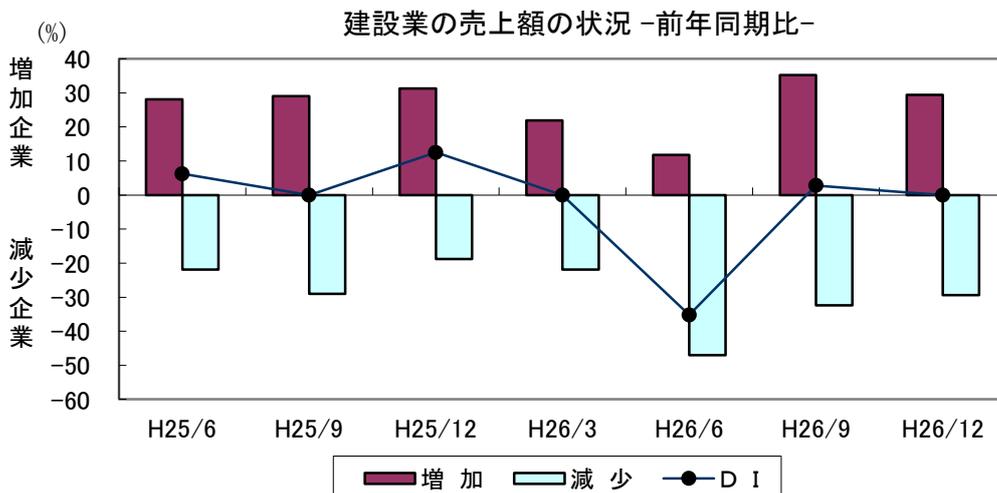
◎完成工事額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から23.4ポイント増加し、35.2%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から14.6ポイント減少し、32.4%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から38.0ポイント改善し、2.8ポイントと大幅な上向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して2.8ポイント悪化し、0.0ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「増加」と回答した企業が5.8ポイント減少、「減少」と回答した企業が3.0ポイント減少であることから、ほぼ横ばいの見通しとなっている。

◎建設業の完成工事額 (前年同期比)

年 / 月	前期				今期		見通し
	H25/6	H25/9	H25/12	H26/3	H26/6	H26/9	H26/12
増加	28.1	29.0	31.3	21.9	11.8	35.2	29.4
減少	21.9	29.0	18.8	21.9	47.0	32.4	29.4
D I	6.2	0.0	12.5	0.0	△ 35.2	2.8	0.0



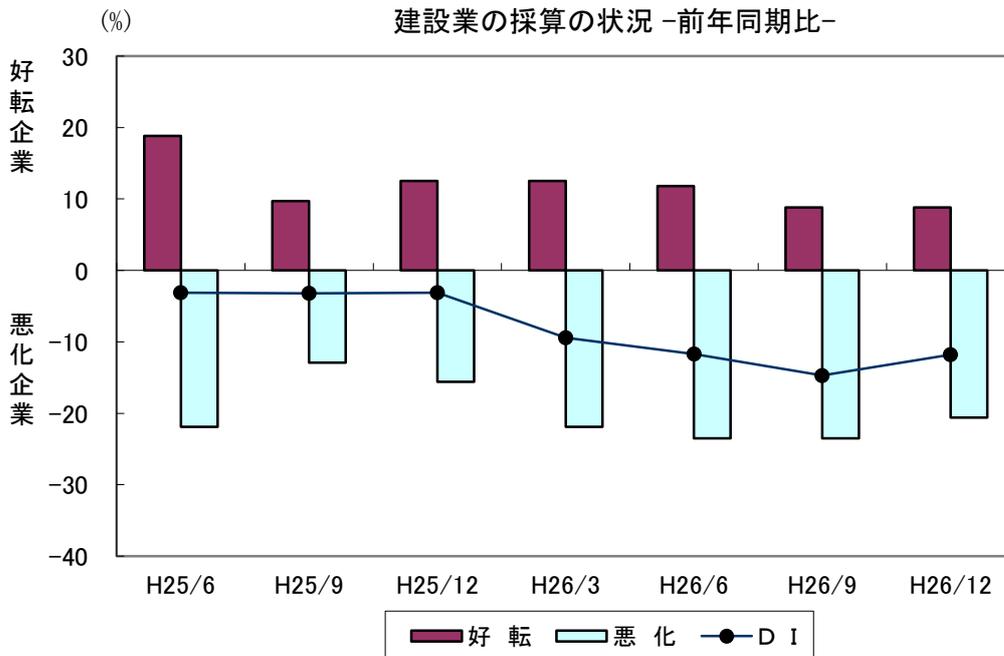
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から3.0ポイント減少し、8.8%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期と同様の23.5%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から3.0ポイント悪化し、マイナス14.7ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して2.9ポイント改善し、マイナス11.8ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が今期と同様の8.8%、「悪化」と回答した企業が2.9ポイント減少であることから、ほぼ横ばいの見通しとなっている。

◎建設業の採算（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	H25/6	H25/9	H25/12	H26/3	H26/6	H26/9	H26/12
好転	18.8	9.7	12.5	12.5	11.8	8.8	8.8
悪化	21.9	12.9	15.6	21.9	23.5	23.5	20.6
D I	△ 3.1	△ 3.2	△ 3.1	△ 9.4	△ 11.7	△ 14.7	△ 11.8



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から0.4ポイント減少し、15.2%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から2.7ポイント増加し、12.1%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から3.1ポイント悪化し、3.1ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して今期と同様の3.1ポイントと横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が今期と同様の15.2%、「悪化」と回答した企業が今期と同様の12.1%であることから、横ばいの見通しとなっている。

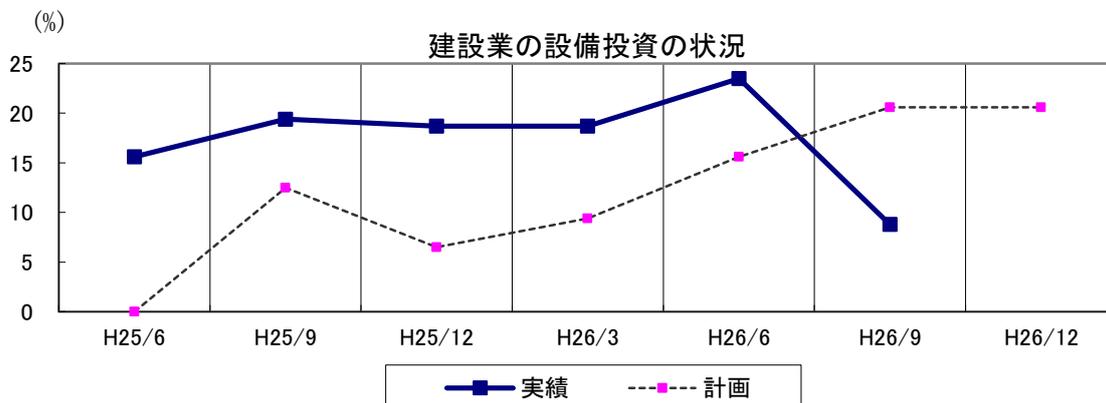
◎建設業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	H25/6	H25/9	H25/12	H26/3	H26/6	H26/9	H26/12
好転	32.3	16.7	22.6	19.4	15.6	15.2	15.2
悪化	6.5	3.3	0.0	3.2	9.4	12.1	12.1
D I	25.8	13.4	22.6	16.2	6.2	3.1	3.1

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から14.7ポイント減少し8.8%となっている。投資内容では「建設機械」、「車両・運搬具」、「OA機器」が33.3%で、他は0%となっている。

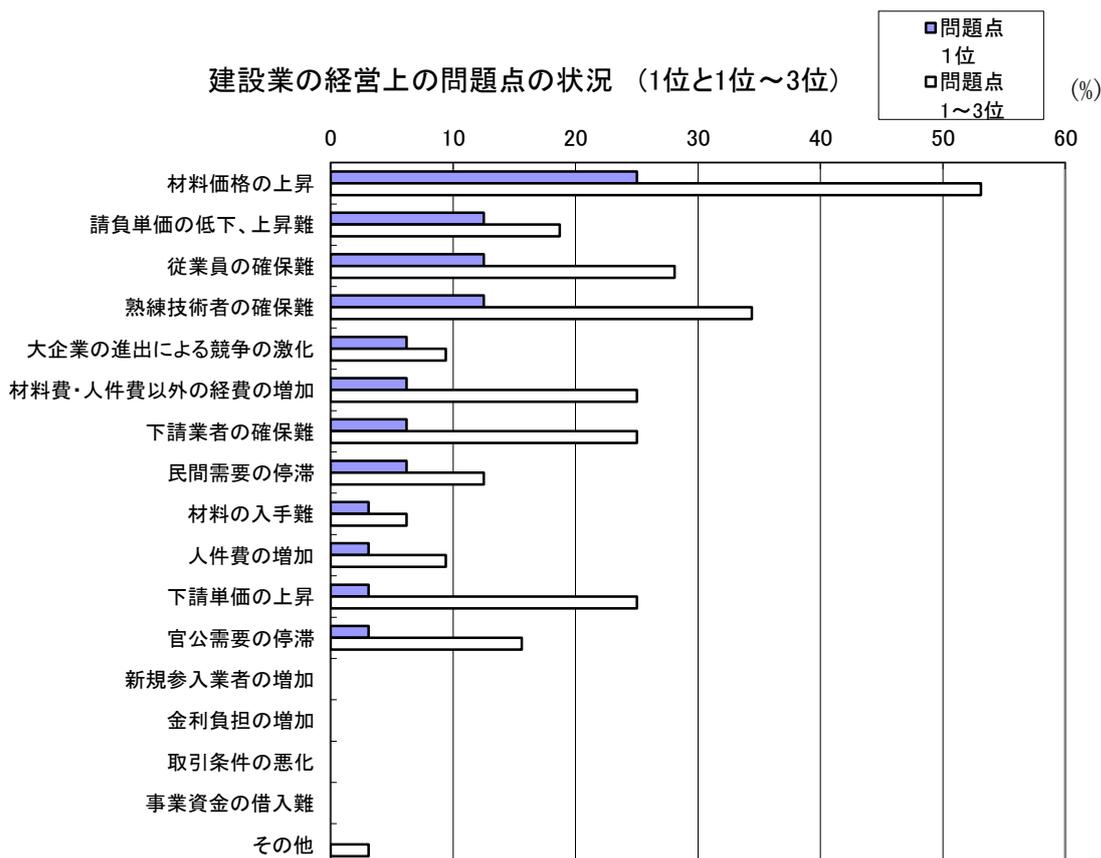
来期に設備投資を計画している企業は20.6%であり、今期計画から今期と同様の20.6%、今期実績からは11.8ポイント増加している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「材料価格の上昇」が25.0%、「請負単価の低下、上昇難」、「従業員の確保難」、「熟練技術者の確保難」が12.5%で、他は10%未満となっている。

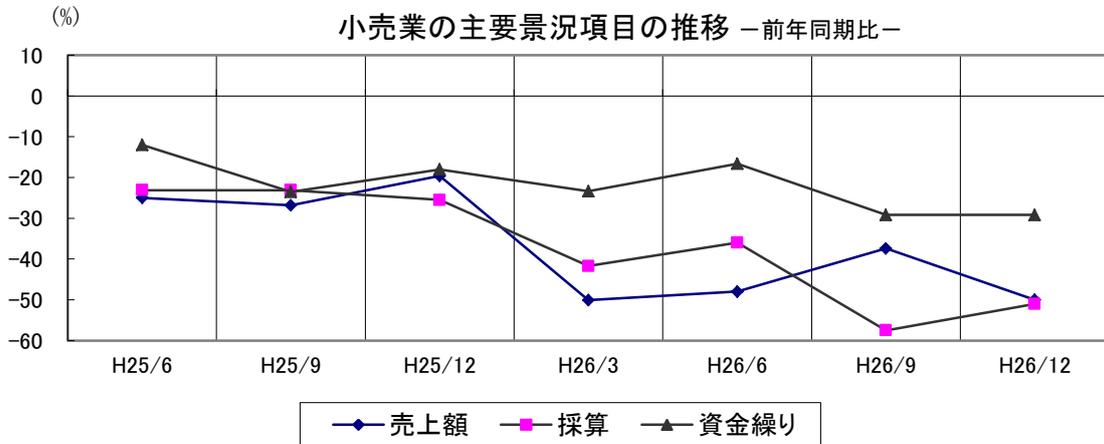
第1位～3位までの合計の問題点は、「材料価格の上昇」(複数回答以下同じ)が53.1%、「熟練技術者の確保難」が34.4%、「従業員の確保難」が28.1%、「材料費・人件費以外の経費の増加」、「下請業者の確保難」、「下請単価の上昇」が25.0%、「請負単価の低下、上昇難」が18.7%、「官公需要の停滞」が15.6%、「民間需要の停滞」が12.5%で、他は10%未満となっている。



4. 小 売 業

今期(平成26年 7～ 9月期)の前年同期比DI値は、前期DI値と比較して売上高でマイナス37.4ポイント(10.6ポイント改善のやや上向き)、採算でマイナス57.5ポイント(21.5ポイント悪化の大幅な下向き)、資金繰りでマイナス29.2ポイント(12.6ポイント悪化の下向き)と、売上高でやや上向き、採算で大幅な下向き、資金繰りで下向きとなっている。

来期(平成26年 10～ 12月期)見通しの前年同期比DI値は、今期DI値と比較して売上高でマイナス50.0ポイント(12.6ポイント悪化の下向き)、採算でマイナス51.0ポイント(6.5ポイント改善のやや上向き)、資金繰りで前期と同様のマイナス29.2ポイントの見通しと、売上高で下向き、採算でやや上向き、資金繰りで前期同様の見通しとなっている。



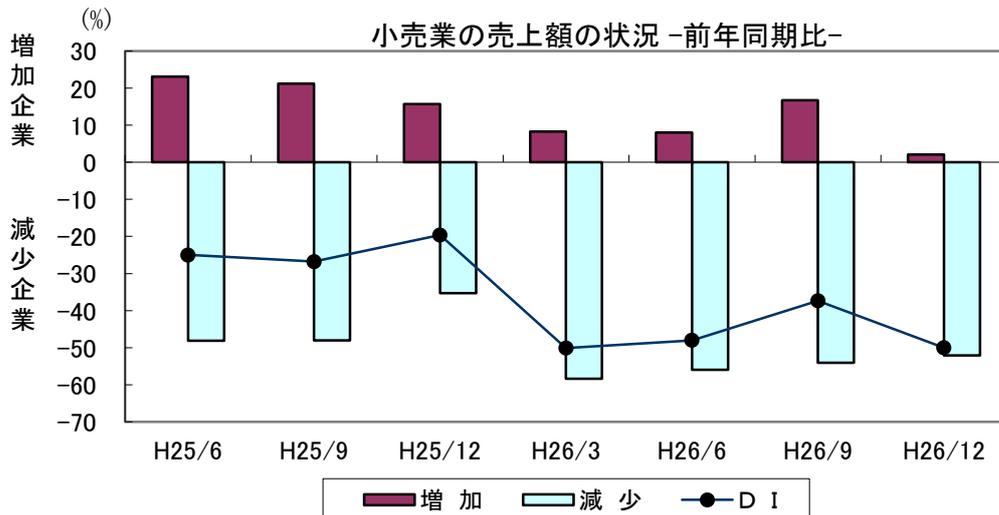
◎売上額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から8.7ポイント増加し、16.7%となった。一方「減少」と回答した企業は前期から1.9ポイント減少し、54.1%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から10.6ポイント改善し、マイナス37.4ポイントとやや上向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して12.6ポイント悪化し、マイナス50.0ポイントと下向き傾向にあり、「増加」と回答した企業が14.6ポイント減少、「減少」と回答した企業が2.0ポイント減少であることから、下向きの見通しとなっている。

◎小売業の売上額 (前年同期比)

年 / 月					前 期	今 期	見通し
	H25/6	H25/9	H25/12	H26/3	H26/6	H26/9	H26/12
増 加	23.1	21.2	15.7	8.3	8.0	16.7	2.1
減 少	48.1	48.0	35.3	58.4	56.0	54.1	52.1
D I	△ 25.0	△ 26.8	△ 19.6	△ 50.1	△ 48.0	△ 37.4	△ 50.0



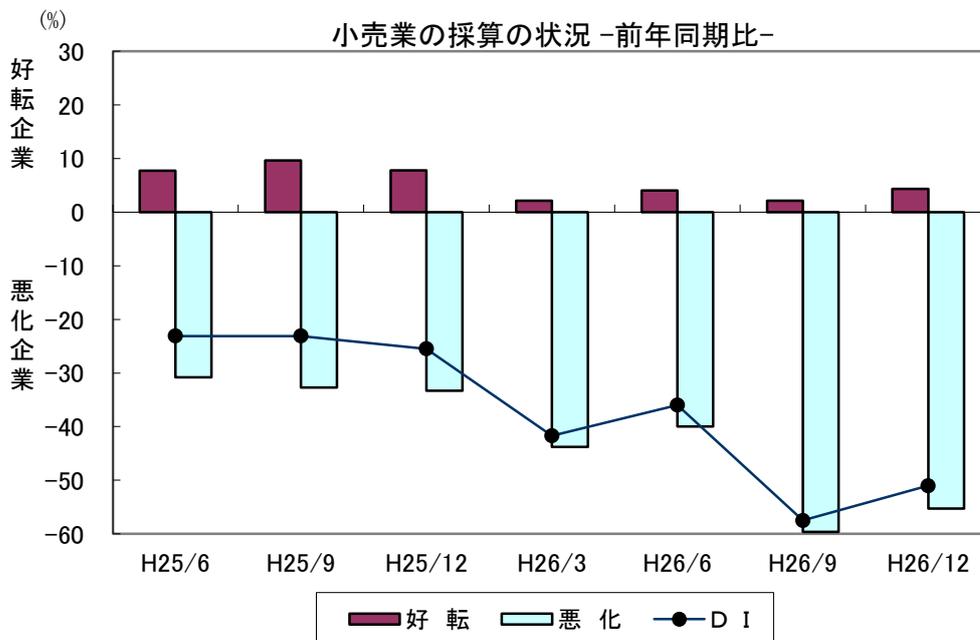
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から1.9ポイント減少し、2.1%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から19.6ポイント増加し、59.6%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から21.5ポイント悪化し、マイナス57.5ポイントと大幅な下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して6.5ポイント改善し、マイナス51.0ポイントとやや上向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が2.2ポイント増加、「悪化」と回答した企業が4.3ポイント減少であることから、やや上向きの見通しとなっている。

◎小売業の採算（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	H25/6	H25/9	H25/12	H26/3	H26/6	H26/9	H26/12
好転	7.7	9.6	7.8	2.1	4.0	2.1	4.3
悪化	30.8	32.7	33.3	43.8	40.0	59.6	55.3
D I	△ 23.1	△ 23.1	△ 25.5	△ 41.7	△ 36.0	△ 57.5	△ 51.0



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から4.2ポイント減少し0.0%であった。一方「悪化」と回答した企業は前期から8.4ポイント増加し、29.2%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から12.6ポイント悪化し、マイナス29.2ポイントと下向き傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して今期と同様のマイナス29.2ポイントと横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が今期と同様の0.0%、「悪化」と回答した企業が今期と同様の29.2%であることから、横ばいの見通しとなっている。

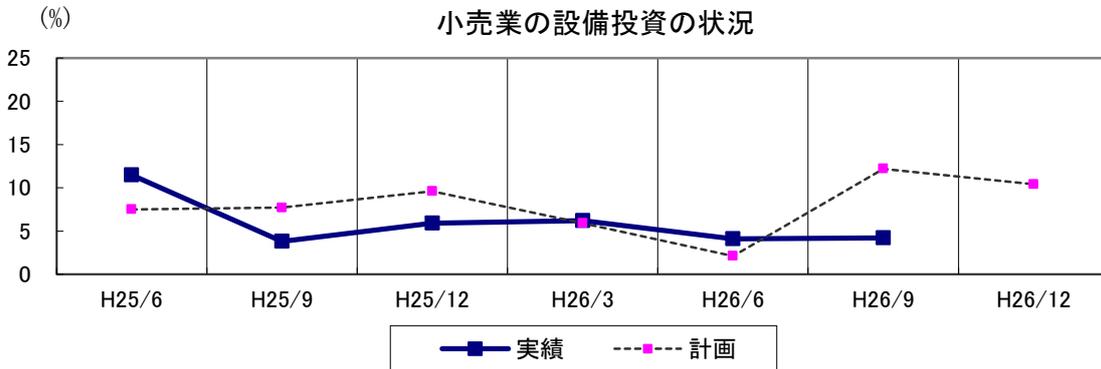
◎小売業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月					前期	今期	見通し
	H25/6	H25/9	H25/12	H26/3	H26/6	H26/9	H26/12
好転	10.0	2.0	6.0	4.3	4.2	0.0	0.0
悪化	22.0	25.5	24.0	27.7	20.8	29.2	29.2
D I	△ 12.0	△ 23.5	△ 18.0	△ 23.4	△ 16.6	△ 29.2	△ 29.2

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から0.1ポイント増加し4.2%となっている。投資内容では「販売設備」、「福利厚生施設」が50.0%で、他は0%となっている。

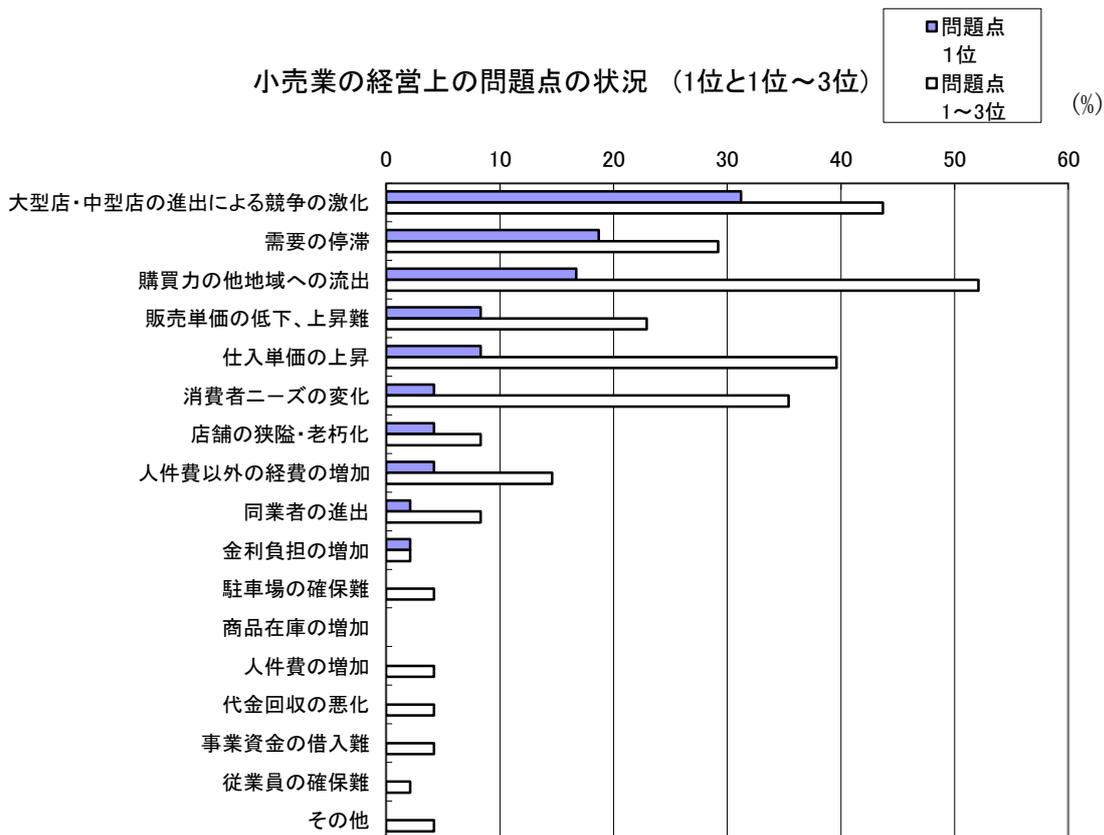
来期に設備投資を計画している企業は10.4%であり、今期計画から1.8ポイント減少、今期実績からは6.2ポイント増加している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が31.2%、「需要の停滞」が18.7%、「購買力の他地域への流出」が16.7%で、他は10%未満となっている。

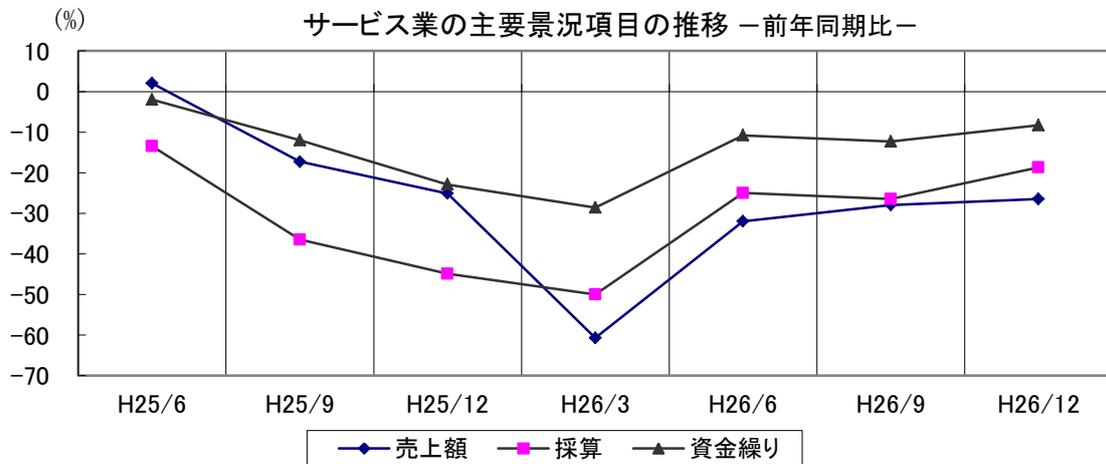
第1位～3位までの合計の問題点は、「購買力の他地域への流出」(複数回答以下同じ)が52.1%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が43.7%、「仕入単価の上昇」が39.6%、「消費者ニーズの変化」が35.4%、「需要の停滞」が29.2%、「販売単価の低下、上昇難」が22.9%、「人件費以外の経費の増加」が14.6%で、他は10%未満となっている。



5. サービス業

今期(平成26年 7～9月期)の前年同期比DI値は、前期DI値と比較して売上高でマイナス28.0ポイント(4.0ポイント改善のほぼ横ばい)、採算でマイナス26.5ポイント(1.5ポイント悪化のほぼ横ばい)、資金繰りでマイナス12.3ポイント(1.5ポイント悪化のほぼ横ばい)と、売上高、採算、資金繰りでほぼ横ばいとなっている。

来期(平成26年 10～12月期)見通しの前年同期比DI値は、今期DI値と比較して売上高でマイナス26.5ポイント(1.5ポイント改善のほぼ横ばい)、採算でマイナス18.7ポイント(7.8ポイント改善のやや上向き)、資金繰りでマイナス8.3ポイント(4.0ポイント改善のほぼ横ばい)と、売上高、資金繰りでほぼ横ばい、採算でやや上向きの見通しとなっている。



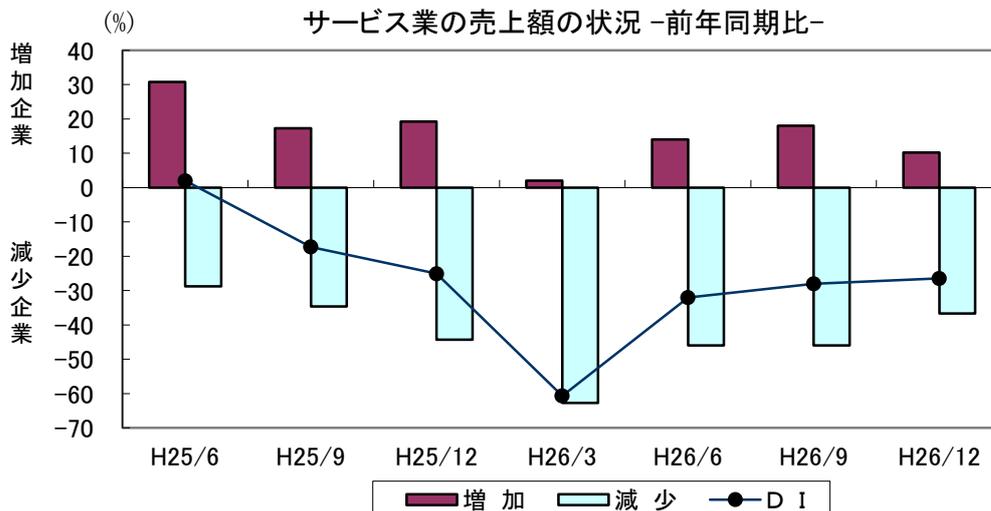
◎売上額状況

今期の状況を前年同期比で、「増加」と回答した企業は前期から4.0ポイント増加し、18.0%となった。一方「減少」と回答した企業は前期と同様の46.0%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から4.0ポイント改善し、マイナス28.0ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して1.5ポイント改善し、マイナス26.5ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「増加」と回答した企業が7.8ポイント減少、「減少」と回答した企業が9.3ポイント減少であることから、ほぼ横ばいの見通しとなっている。

◎サービス業の売上額（前年同期比）

					前期	今期	見通し
年 / 月	H25/6	H25/9	H25/12	H26/3	H26/6	H26/9	H26/12
増加	30.8	17.3	19.2	2.0	14.0	18.0	10.2
減少	28.8	34.6	44.3	62.7	46.0	46.0	36.7
D I	2.0	△ 17.3	△ 25.1	△ 60.7	△ 32.0	△ 28.0	△ 26.5



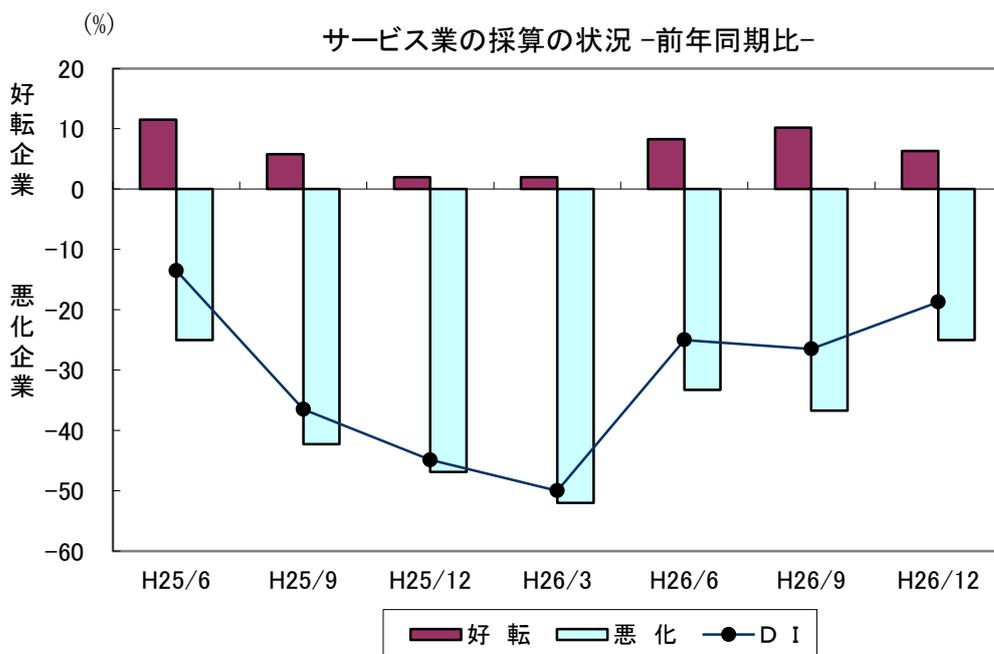
◎採算状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から1.9ポイント増加し、10.2%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から3.4ポイント増加し、36.7%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から1.5ポイント悪化し、マイナス26.5ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して7.8ポイント改善し、マイナス18.7ポイントとやや上向き傾向にあり、「好転」と回答した企業が3.9ポイント減少、「悪化」と回答した企業が11.7ポイント減少であることから、やや上向きの見通しとなっている。

◎サービス業の採算（前年同期比）

年 / 月					前 期	今 期	見通し
	H25/6	H25/9	H25/12	H26/3	H26/6	H26/9	H26/12
好 転	11.5	5.8	2.0	2.0	8.3	10.2	6.3
悪 化	25.0	42.3	46.9	52.0	33.3	36.7	25.0
D I	△ 13.5	△ 36.5	△ 44.9	△ 50.0	△ 25.0	△ 26.5	△ 18.7



◎資金繰り状況

今期の状況を前年同期比で、「好転」と回答した企業は前期から4.8ポイント減少し、6.1%となった。一方「悪化」と回答した企業は前期から3.3ポイント減少し、18.4%となった。今期のDI値は、前期DI値と比較して前期から1.5ポイント悪化し、マイナス12.3ポイントとほぼ横ばい傾向となっている。

来期DI値の見通しは、今期DI値と比較して4.0ポイント改善で、マイナス8.3ポイントとほぼ横ばい傾向にあり、「好転」と回答した企業が0.2ポイント増加、「悪化」と回答した企業が3.8ポイント減少であることから、ほぼ横ばいの見通しとなっている。

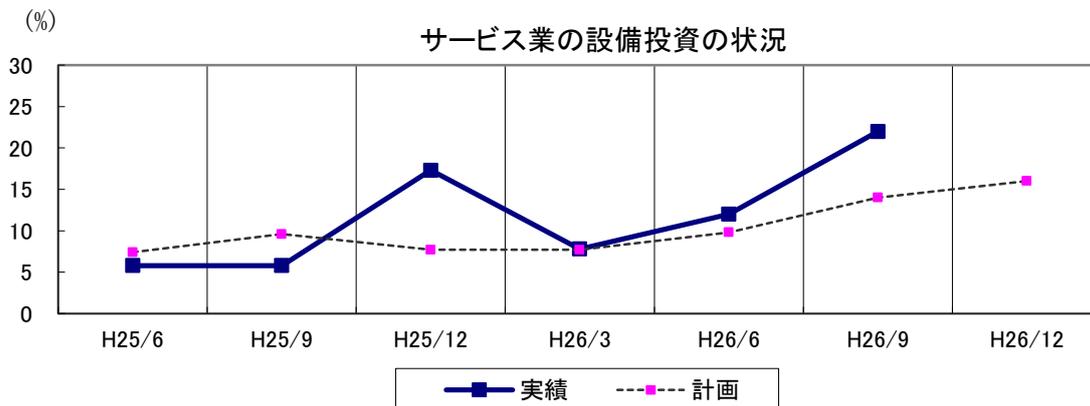
◎サービス業の資金繰り（前年同期比）

年 / 月					前 期	今 期	見通し
	H25/6	H25/9	H25/12	H26/3	H26/6	H26/9	H26/12
好 転	12.0	4.0	2.1	2.0	10.9	6.1	6.3
悪 化	14.0	16.0	25.0	30.6	21.7	18.4	14.6
D I	△ 2.0	△ 12.0	△ 22.9	△ 28.6	△ 10.8	△ 12.3	△ 8.3

◎設備投資状況

今期の実施企業は、前期実績と比べ前期から10.0ポイント増加し22.0%となっている。投資内容では「付帯施設」が36.4%、「建物」が27.3%、「車両・運搬具」が18.2%、「サービス」、「OA機器」、「その他」が9.1%で、他は0%となっている。

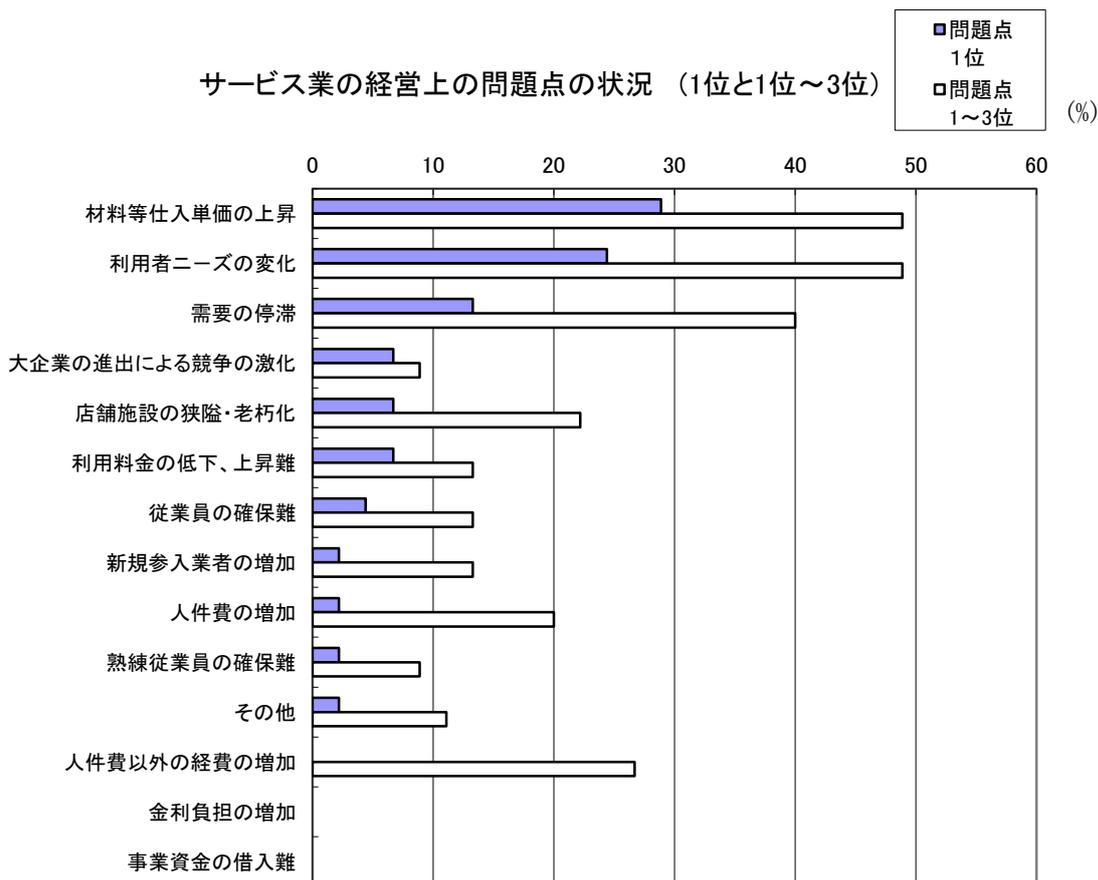
来期に設備投資を計画している企業は16.0%であり、今期計画から2.0ポイント増加、今期実績からは6.0ポイント減少している。



◎経営上の問題点

企業が第1位とあげた問題点は、「材料等仕入単価の上昇」が28.9%、「利用者ニーズの変化」が24.4%、「需要の停滞」が13.3%で、他は10%未満となっている。

第1位～3位までの合計の問題点は、「材料等仕入単価の上昇」(複数回答以下同じ)、「利用者ニーズの変化」が48.9%、「需要の停滞」が40.0%、「人件費以外の経費の増加」が26.7%、「店舗施設の狭隘・老朽化」が22.2%、「人件費の増加」が20.0%、「利用料金の低下、上昇難」、「従業員の確保難」、「新規参入業者の増加」が13.3%、「その他」が11.1%で、他は10%未満となっている。



調査対象企業の

(1) 業種別(中分類)企業数

製 造 業				建 設 業				
業 種	企 業 数	構 成 比 (%)	業 種	企 業 数	構 成 比 (%)	業 種	企 業 数	構 成 比 (%)
食 料 品	8	19.0	総 合 工 事 業	21	61.8			
飲 料 ・ 飼 料 ・ た ば こ			職 別 工 事 業	8	23.5			
織 維 工 業			設 備 工 事 業	5	14.7			
衣 服 ・ そ の 他 織 維 製 品	1	2.4						
木 材 ・ 木 製 品								
家 具 ・ 装 備 品	2	4.8						
パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品								
印 刷 ・ 同 関 連 産 業	2	4.8						
化 学 工 業								
プ ラ ス チ ッ ク 製 品	1	2.4						
窯 業 ・ 土 石 製 品	1	2.4						
鉄 鋼 業								
金 属 製 品	7	16.7						
一 般 機 械 器 具	5	11.9						
電 気 機 械 器 具	3	7.1						
情 報 通 信 機 械 器 具								
電 子 部 品								
輸 送 用 機 械 器 具	1	2.4						
精 密 機 械 器 具	4	9.5						
そ の 他	7	16.7						
合 計	42	100.0	合 計	34	100.0			

(2) 従業員数別企業数

従 業 員	製 造 業		建 設 業		小 売 業		サ ー ビ ス 業	
	企 業 数	構 成 比 (%)	企 業 数	構 成 比 (%)	企 業 数	構 成 比 (%)	企 業 数	構 成 比 (%)
0 ～ 2 人	12	28.6	8	23.5	34	70.8	31	62.0
3 ～ 5	13	31.0	11	32.4	11	22.9	11	22.0
6 ～ 10	3	7.1	4	11.8	2	4.2	6	12.0
11 ～ 20	5	11.9	6	17.6	1	2.1	1	2.0
21 ～ 50	6	14.3	4	11.8			1	2.0
51 ～ 100	2	4.8	1	2.9				
101 ～ 300	1	2.4						
合 計	42	100.0	34	100.0	48	100.0	50	100.0

福島県商工会連合会および各広域指導センター住所

名 称	郵便番号	住 所	電 話	F A X
福島県商工会連合会	960-8053	福島市三河南町1番20号 (コラッセふくしま9F)	024-525-3411	024-525-3413
中通り広域指導センター	962-0028	須賀川市茶畑町46-105	0248-94-2680	0248-94-2677
会津広域指導センター	969-6042	大沼郡会津美里町字 瀬戸町甲3230	0242-93-5607	0242-56-3815
浜通り広域指導センター	970-8026	いわき市平堂根町4の17 いわき中央ビル5F	0246-25-1011	0246-25-1013